

【別添2】(様式例2)

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立飛騨高山高等学校

学校番号 58

(全日制課程)

I 自己評価

1 学校教育目標	(1)「快活」「友愛」「創造」を校訓とし、心身ともに健やかで、より豊かな人間性と「生きる力」を備えた生徒の育成を目指す。 (2)社会への貢献や地域の発展に寄与できる人材を目指し、一般教養及び専門的知識や技術を身につけさせるとともに、創造性にあふれ明朗快活で心豊かな人間性を養う。	
2 評価する領域・分野	生徒指導	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・生徒及び保護者等を対象とするアンケート結果から 「本校では、他者を思いやり、感謝の気持ちを育てる教育が行われている。」(肯定評価の割合：生徒86%) 「本校では、いじめや差別を許さず、厳しく対応している。」(肯定評価の割合：生徒83%)	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	(1)基本的生活習慣の確立に加え、協調性や思いやりがあり、心豊かで規律正しい人間の形成。 (2)コミュニケーション能力を高め、積極的に行動できる資質を養う。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・企画委員会を中心に、学年、学科等、縦と横の連携を大切にして、迅速かつ適切に対応できる組織とする。	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
① 遅刻生徒の減少に向けて生徒会と共に運動を実施する。 ② 自らすすんであいさつができ、周囲に対する気配りができる人になれるよう、生徒会、MSリーダーズと連携する。 ③ 社会に貢献できるMSリーダーズ活動を、生徒が主体となって、積極的に企画、運営することができるよう、働きかけをする。 ④ 自ら身だしなみを整え、正しい着こなしができるように、働きかけする。	① 遅刻者統計数の結果。 ② あいさつに対して意識、行動が高まったか評価する。(職員、生徒の自己評価) ③ MSリーダーズ活動が、参加生徒にとって達成感、充実感のあるものであったか評価する。(参加生徒の自己評価) ④ 身だしなみ指導の前に、自ら着こなしについて評価する。(生徒の自己評価)	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・コロナウイルス感染予防対策から4月～6月まで休校期間があったが、遅刻者、欠席者ともに減少傾向となった。 ・年間を通じて、各クラスが朝の挨拶運動にMSリーダーズとともに参加した。 ・現在、MSリーダーズに278名の生徒が登録している。またボランティア活動を生徒が自主企画・実行することで、気配りのある雰囲気、行動が広まりつつある。	①朝、自主的な活動の増加により遅刻者は減少した。 ②自己存在感が高まり、自ら進んで挨拶できる生徒が増加した。 ③自主的な活動を行うことで充実感を感じた生徒が多かった。	A (B) C D (A) B C D A (B) C D
11 成果・課題	○コロナウイルス感染予防対策で、例年行っている朝の玄関での身だしなみ指導が開催できなかったが、後期よりクラスごとによるMSリーダーズを中心とした継続的な挨拶運動によって、挨拶と正しい着こなしが習慣化している。 ○コロナ禍ではあるが、MSリーダーズが、自主的にボランティアを企画・実践することによって、善意の行動が広がりを見せている。 ▲SNS等でのトラブルが多く、再度情報モラルについての意識を高めさせることが大切である。	
12 来年度に向けての改善方策案	・SNS等の使用について、様々な場面で啓発していくことを継続し、規範意識を高めたい。 ・自主的なMSリーダーズの活動や委員会活動の活性化が、地域の役に立つ内容になるよう、生徒の自主性を引き出しながらアドバイスや情報提供をしていく。生徒にさらなる満足感や充実感を与える。	

II 学校関係者評価

実施年月日：令和3年1月29日

【意見・要望・評価等】

・何をするにも人の気持ちを考えられることが大切であり、部活や生徒会等色々なことを通して学んでくれるとよいと思います。教えてわかることでもないかもしれませんが、教職員に手本を示してもらいたいです。